

令和5年6月30日(金) 14:00~

宇部市総合福祉会館2階ボランティア交流ホール(大)

第3回 宇部市石炭記念館 あり方検討委員会

宇部市観光スポーツ文化部ときわ公園課

1 課題の整理

施設(ハード面)

- 建物の耐震補強による長寿命化、又は建替え
- 現在は開放していない屋上スペースの活用
- ときわ公園内の案内看板(誘導看板)の見直し
- 記念館へのアクセス経路(園路)の改善

展示・収蔵品

- 展示手法の見直し(VR等の導入)
- 炭鉱史だけでなく、現在、未来のエネルギーにまつわる展示
- ストーリー性のある展示順路への見直し
- 老朽化した模型等の更新
- 展示物、収蔵品を守る環境整備(保存環境、防犯対策)
- 屋外展示物の維持管理手法の確立
- 展示物の解説改善(音声ガイドの見直し、充実等)
- 企画展等の開催スペース確保
- 資料の収蔵庫の確保

ソフト事業

- 情報発信の手法や内容の見直し
- ターゲットを見据えた企画への見直し
- 企画展やイベントと一体となった情報発信の実施
- 歴史を後世に伝える人材の育成
⇒ 学芸員の配置
⇒ サポーター制度等の導入の検討
- 教育普及を進めるための人材確保
⇒ ミュージアム
エドゥケーター等の配置
- 教育機関との連携強化

2 石炭記念館の意義・目的

開設当初の目的

- 宇部市発展の礎となった石炭が当地にもたらした多大な恩恵に感謝し、幾多の貴重な文献機材を整備し、その歩みを永く後世に伝える

今日的な意義・目的

- 炭都うべの歴史を後世に伝える
- 貴重な観光資源の一つとして活用する

3 石炭記念館の役割

宇部市発展のシンボルとしての役割

- 石炭産業により発展してきた地域の歴史を後世に伝える
- 東見初炭鉱で活躍した竪坑櫓を活用した展望台は、シンボリックな存在となっている

観光の拠点としての役割

- 竪坑櫓を展望台に再利用した全国的にも珍しい建造物という特徴を持っている
- 展望台は、常盤湖や市街地、空港、周防灘などが望めるビュースポットである

山口炭田(宇部・大嶺)の炭鉱の記録や記憶の集積地としての役割

- 山口県内における石炭産業やそれに関わる記憶や記録などの資料の収集、保存

歴史や技術、文化について学び、体験できる拠点としての役割

- 炭都うべの歴史教育の拠点
- 過去、現在、未来のエネルギー、科学技術に関する教育の拠点
- 宇部の海底炭鉱の坑内を再現したモデル坑道が体験できる

4 今後の取組の方向性

石炭記念館の 価値創出

石炭記念館の歴史的価値を再評価し、文化財登録なども含め、歴史的価値を創出する。

新たな展示空間の 創設

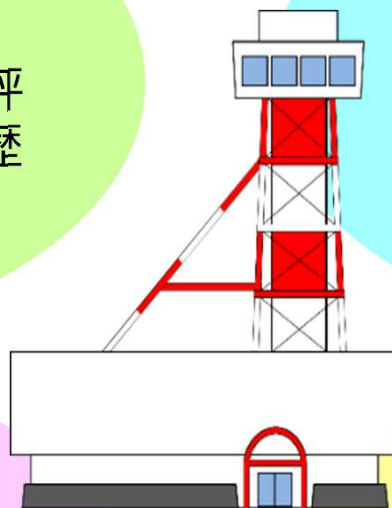
ストーリー性のある展示空間を創設する。また、様々な技術とのつながりや未来のエネルギーについて学び、体験できる場を創出する。

施設の長寿命化

多様な利用者に対応できるように施設・設備の充実を図るとともに、今後も持続可能な活動を展開できるように長寿命化を図る。

情報発信による 認知度向上

貴重な収蔵品など宇部市石炭記念館の価値をアピールし認知度アップを目指す。



5 提言書の構成(案)

1 検討の背景と目的

背景、施設概要、目的、検討(委員会)実施状況

2 施設の現状と課題

施設(ハード面)、展示・収蔵品、ソフト事業

3 施設のあり方

意義・目的、役割、取組の方向性

4 終わりに

委員長のことば

6 今後のスケジュール

開催日程	回次	検討項目等
令和5年8月下旬 ～9月上旬	第4回委員会	・提言書とりまとめ ・提言書(案)の確認
令和5年9月	提言書提出	
令和5年9月～11月	石炭記念館基本構想(素案)策定	
令和5年12月	基本構想(素案)に関するパブリックコメントを実施	
令和6年3月	基本構想策定、公表	